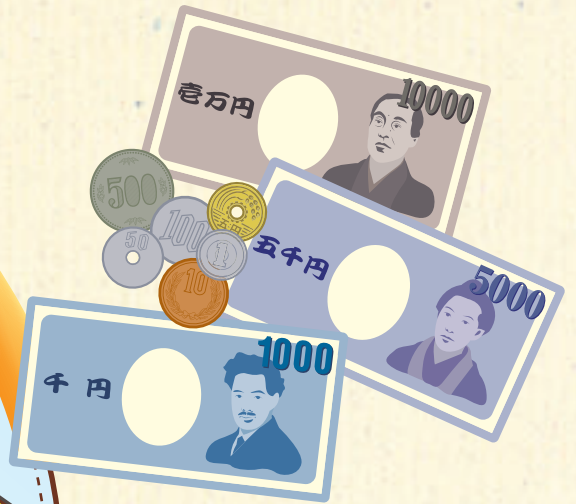


平成26年度

こと はじめ

予算事始め

さがみはらの予算をわかりやすく解説します



contents

- P2 予算の基礎知識
 - ・予算って何？
 - ・予算ってどうやって決めるの？
 - ・補正予算って何？
- P4 歳入(1年間の市の収入)
- P6 歳出(1年間の市の支出)
- P8 平成26年度の主な取り組み
- P10 相模原市財政状況
- P12 健全財政に向けた主な取り組み
- P13 宝くじ情報と寄附金制度のご案内
- P14 相模原家の家計簿



相模原市
マスコットキャラクター
さがみん

予算の 基礎知識



それではまずはじめに、
基本的な疑問にお答えしましょう。
予算とはどういうものなのでしょう？

予算って何？

まずはじめに「予算」についてです。

市役所では福祉、教育、ごみ処理、消防、道路の整備など、様々な仕事していますが、どんな仕事にお金を使うのかあらかじめ決めておく必要があります。そこで、1年間に市役所に入ってくる収入を見積もり、収入の範囲内でその使いみち(支出)を計画したものが予算になります。



予算ってどうやって決めるの？

皆さんにより良い生活を送っていただくために何をしたら良いか、そして、そのためにどのくらいのお金が必要なのかなどを検討し、予算の案を作成します。

できあがった予算案は、皆さんが選挙で選んだ市議会議員で構成される市議会に提出され、内容の審査を経た後に、市議会の議決を受けてはじめて、予算が決まります。

たとえば家庭では・・・



補正予算って何？

4月1日から翌年3月31日までの1年間に必要とされる予算は、「当初予算」として、年度が始まる直前の3月定例会議で決まります。しかし、年度の途中で、状況の変化や新しい事態が発生した場合には、変化に対応するため「当初予算」に変更を加える必要があります。これが「補正予算」です。

「補正予算」は必要に応じて何度でも編成することができますが、「当初予算」と同じように、市議会に提出され、市議会の議決を受けてはじめて、予算が決まります。

一体編成予算

長引く不況を克服すべく、切れ目のない経済対策を早期に実施するための国の大型補正予算に対応するため、相模原市は、翌年度に実施予定だった事業を3月補正予算へ大幅に前倒し、3月補正予算と翌年度予算を一体的に編成しました。これを一体編成予算と呼んでいます。

相模原市は、前年度に引き続き国の補正予算に対応し、経済・雇用対策事業を推進するため、平成25年度補正予算と平成26年度予算を一体的に編成しました。

相模原市の予算はどのくらい？

平成26年度
一般会計予算額
2,576億円

一体編成した平成25年度
3月補正予算との合計額

2,624億円

平成26年度
特別会計予算額
1,725億円

※特別会計予算額は9の特別会計の合計額
※予算額は億円未満を四捨五入

平成26年度
公営企業会計予算額
279億円

平成26年度一般会計予算額と人口の主な政令指定都市との比較

大 阪 市 (約268万人)	1兆6,627億円
横 浜 市 (約370万人)	1兆4,182億円
名古屋市 (約227万人)	1兆 574億円
⋮	⋮
静 岡 市 (約 71万人)	2,762億円
浜 松 市 (約 79万人)	2,741億円
相模原市 (約 72万人)	2,576億円

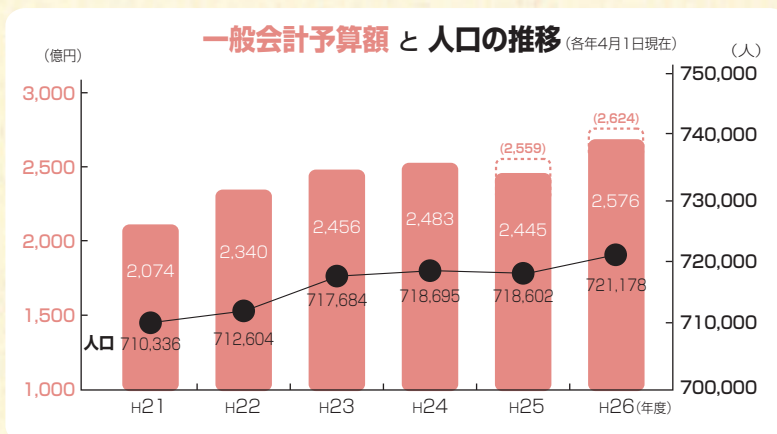
政令指定都市の中では、最も少ない
予算規模です。

※人口は万人未満、予算額は億円未満を
四捨五入。

※人口は平成26年4月1日現在推計人口。

右のグラフは、過去5年間の一般会
計予算額と人口の推移です。

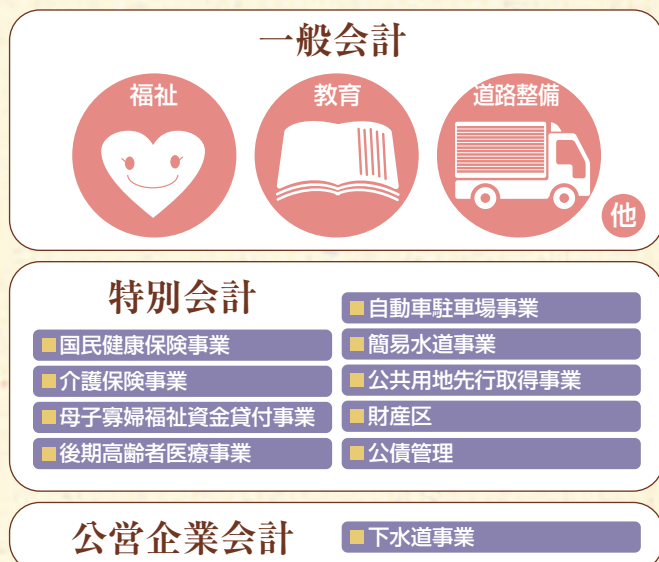
予算額も人口も増加傾向にあり、平
成26年度の予算は前年度から5.4%の
増となっています。また、前年度と同
様に一部事業を平成25年度3月補正
予算に前倒しており、一体編成予算で
比べると前年度から2.5%の増となっ
ています。



『会計』のしくみ

市では、福祉・教育・道路整備などさまざまな
事業を行っており、これらは、「一般会計」として
お金の管理をしています。特定の収入（国民健康
保険税、介護保険料、下水道使用料など）がある
ものについては、お金の出し入れを分かりやすく
するため、お財布を分けて管理しています。

これらのお財布を「特別会計」または「公営企業
会計」とよび、相模原市には、右に示すように
9つの特別会計と1つの公営企業会計があります。



歳入

1年間の市の収入



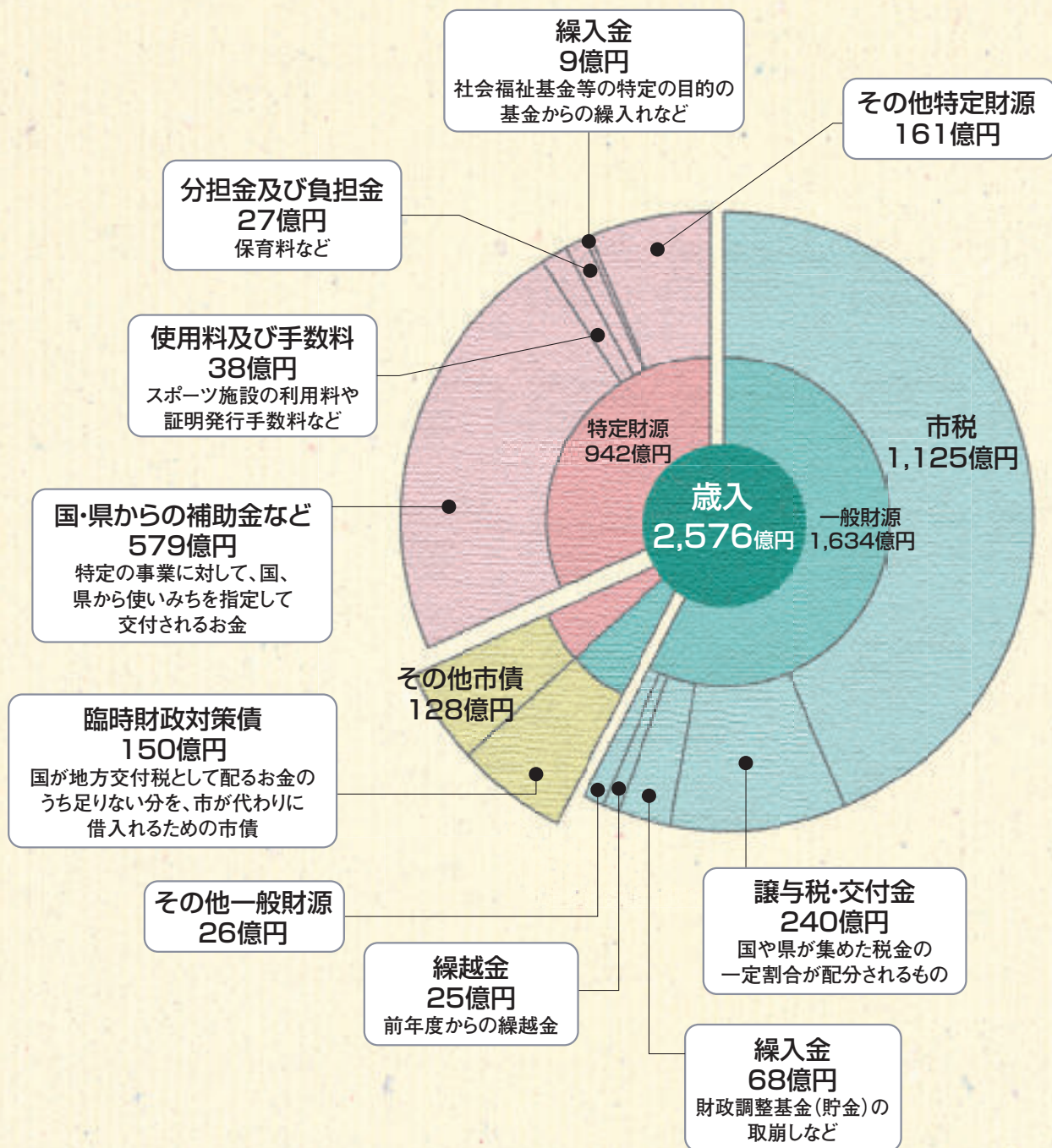
まずは、市の収入である歳入について説明します。

市の収入にはどんなものがあるの？

相模原市の収入（歳入）のうち、もっとも大きな割合を占めているのが『市税』です。

このほか、国や県から配られるお金や借入金（市債）など、さまざまなものがあります。

収入は、使いみちが自由な「一般財源」と、使いみちが決められている「特定財源」に分けられます。市がさまざまな市民ニーズに対応して事業を行っていくためには、一般財源の確保がとても重要になります。



市税の内訳

市税は収入全体の約44%となっています。
主な内訳は次のとおりです。

市民税…県民税と合わせて住民税といわれる税

個人市民税…個人の前年の所得にかかる税

法人市民税…市内に事業所等がある法人にかかる税

固定資産税…土地・家屋・償却資産（事業用の機械等）にかかる税

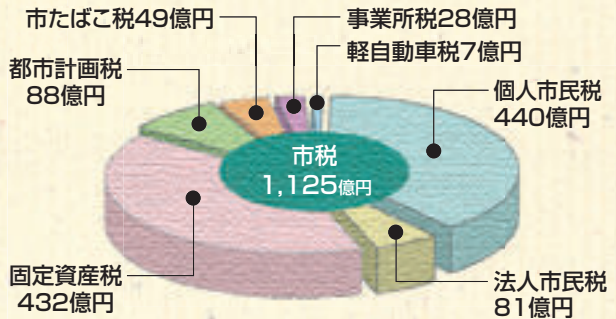
都市計画税…市街化区域内の土地・家屋にかかる税

市たばこ税…たばこ製造者等が市内の小売販売業者に売り渡したたばこにかかる税

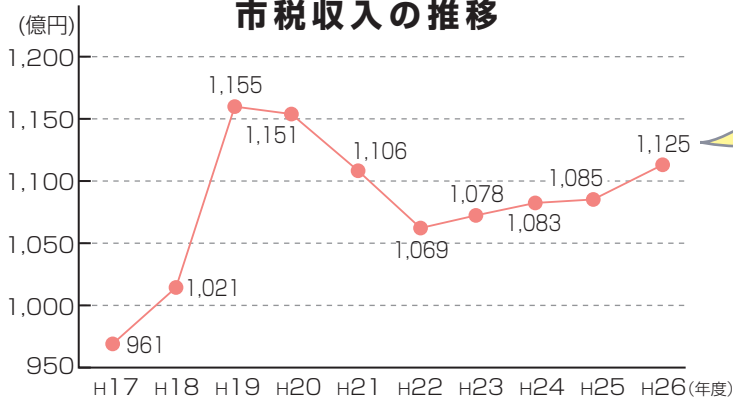
事業所税…事業所等における事業活動にかかる税

軽自動車税…原付・オートバイ・軽自動車などにかかる税

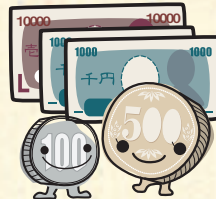
相模原市の市税収入の内訳は、「市民税」と「固定資産税」が多くを占めています。他の政令指定都市と比べると、歳入のうち市税の占める割合が高く、市税の中では景気の影響を受けやすい「法人市民税」の割合が低いことから、比較的変動の少ない歳入構造となっています。



市税収入の推移



市民一人あたりでは
約15万6千円です
平成25年度
約15万1千円



※平成17～24年度は決算額、25・26年度は当初予算額で示しています。※市民一人あたりは、各年4月1日現在の推計人口から算出しています。

相模原市の歳入でもっとも大きな割合を占める市税は、平成19年度のピーク時には及ばないものの、景気の回復基調を背景に個人市民税が約11億円、法人市民税が約13億円の増収。また、固定資産税・都市計画税が約15億円増収となるなど、前年度と比べ40億円の増収となる見込みです。

消費税率引上げについて

平成26年4月から、医療・介護・少子化対策などの社会保障経費の充実・安定化のため、消費税率が5%から8%に上げられました。消費税率の引上げに伴い、相模原市では、平成26年度に地方消費税交付金として、約12億円の増収となる見込みです。相模原市においても、消費税率引上げによる増収分は、全て社会保障経費等の充実・安定化に活用されます。

社会保障の充実に含まれる主な事業

- 保育緊急確保事業の実施
- 待機児童解消加速化プランの推進
- その他 国民健康保険の低所得者の保険税軽減制度の拡充 など

歳出

1年間の市の支出

歳出は、使いみちや目的によってさまざまな見方をすることができますが、ここでは『目的別』経費と『性質別』経費という2つの分類方法で説明します。

『目的別』経費とは…

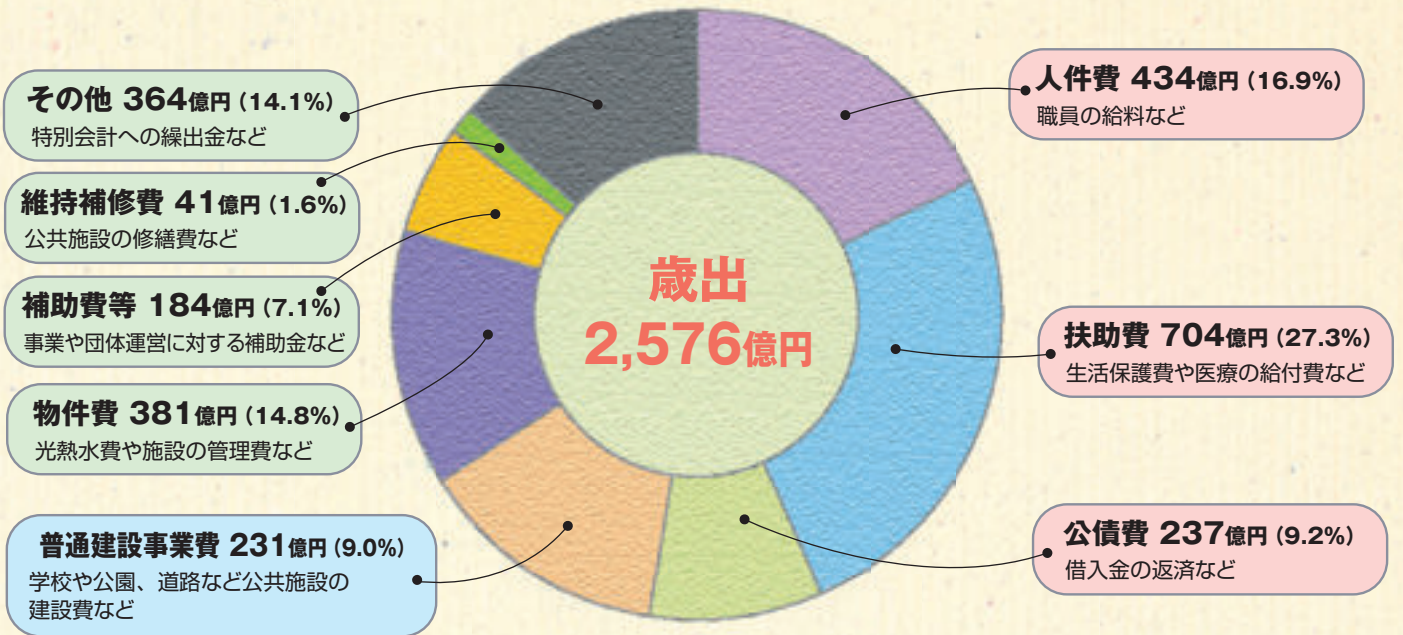
歳出をサービスの目的で分類したもので、「民生費」、「衛生費」、「教育費」などに分けられます。市民一人あたりの予算額は約36万円で、このうち「民生費」が約15万円となっており、全体の約43%を占めています。

目的別経費	当初予算額 (百万円)	一人あたりの 予算額(円)※	構成比 (%)
議会費 (議会運営などに要する経費)	1,050	1,456	0.4
総務費 (市役所の管理運営、広報、防災活動などに要する経費)	23,342	32,367	9.1
民生費 (子育て支援や高齢者・障害者福祉、医療などに要する経費)	110,113	152,685	42.8
衛生費 (健康づくりの推進、ごみ処理、環境保全などに要する経費)	23,296	32,303	9.0
労働費 (勤労者福祉対策などに要する経費)	1,132	1,569	0.4
農林水産業費 (農業振興や林道の整備などに要する経費)	854	1,184	0.3
商工費 (商工業や観光の振興などに要する経費)	14,976	20,766	5.8
土木費 (道路、下水、公園、河川などに要する経費)	31,161	43,208	12.1
消防費 (消防や救急活動などに要する経費)	8,244	11,432	3.2
教育費 (学校教育、生涯学習、スポーツ振興などに要する経費)	19,002	26,348	7.4
公債費 (借金の返済などに要する経費)	23,759	32,945	9.2
その他	671	930	0.3
合計	257,600	357,193	100.0

※一人あたりの予算額(円)は、平成26年4月1日現在の推計人口から算出しています。

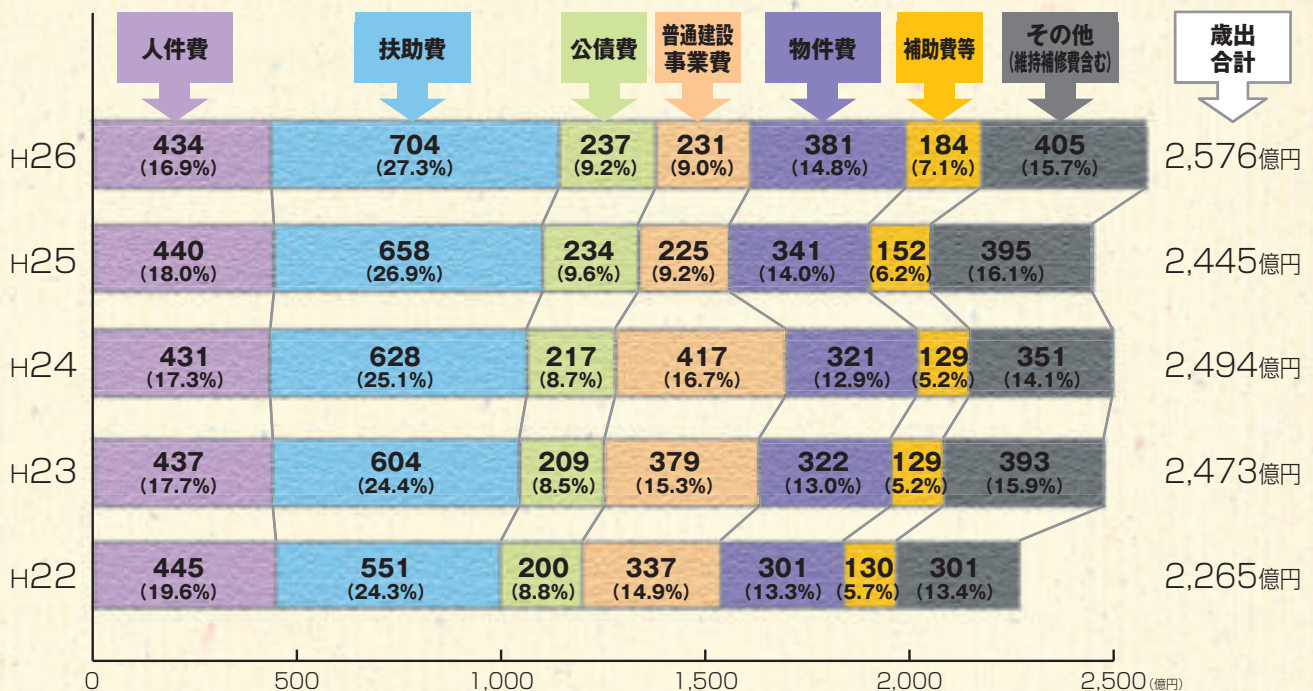
『性質別』経費とは…

歳出を経費の性質に着目して分類したもので、「人件費（人にかかる経費）」「普通建設事業費（建物など将来への投資となる経費）」などに分けられます。



性質別経費の比較

※単位は億円。()内は歳出合計に占める構成比。
※平成22～24年度は決算額、25・26年度は当初予算額で示しています。



性質別経費について、平成22年度と比べると、歳出全体が約310億円大きくなっており、そのうち扶助費が約150億円も増加していることがわかります。一方、人件費については、約10億円減少しています。

なお、平成25・26年度の普通建設事業費については、当初予算で実施予定だった事業を前年度補正予算へ前倒した分が除かれた額となっています。

平成26年度の 主な取り組み

それでは、平成26年度の一般会計予算の主な取り組みについて説明します。

()は、平成25年度3月補正予算により編成し、平成26年度に事業を実施するものです。()を加えた合計が一体編成予算額になります。

にぎわいと活力に満ち、市民がいきいきと暮らせる都市づくり

● 広域交流拠点の形成、交通ネットワークの充実

70億7,310万円

- 橋本駅周辺の整備計画の策定 (2億8,000万円)
- 相模原駅周辺の整備計画の策定
- 小田急多摩線の延伸に向けた取組
- 新しい交通システム導入に向けた検討
- 交通不便地区等における生活交通の確保
- 道路整備の推進



● 地域産業の活性化

123億3,815万円

- 中小企業の支援
- 雇用対策の推進



● 産業を中心とした新たな拠点づくり

8億429万円

- 「(仮称)新・産業振興ビジョン」の策定
- 新たな拠点づくりの促進



● にぎわいと活力を創出する商業・観光の振興

1億9,061万円

- 商店街の環境整備などの支援の推進
- 魅力ある観光エリアの形成の促進、観光人材育成の推進、観光情報発信事業
- 農産物直売所の運営支援などによる「地産地消」の推進
- シティセールスの推進



災害に強く、健康で心安らかに暮らせるまちづくり

● 防災・減災対策

131億2,059万円

(43億7,142万円)

- さがみはら防災・減災プログラム事業の推進
- 都市防災力向上に向けた取組



● 高齢者の福祉の向上

17億9,846万円

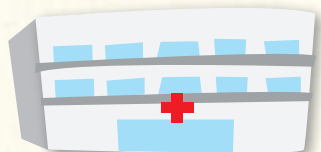
- 第6期高齢者保健福祉計画の策定
- 特別養護老人ホーム等の整備
- 地域包括支援センターの整備



● 暮らしにおける安全・安心の確保

6億9,646万円

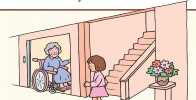
- 消防・救急体制の充実
- 消費者啓発事業の推進
- 自転車事故対策の推進
- DV対策の推進



● 障害福祉の充実

1億4,250万円

- 障害福祉施設の整備
- 相談支援キーテーションの運営



● 医療体制の拡充

9,901万円

- 総合診療医の確保・育成対策の推進
- 風しん抗体検査の実施、予防接種費用の助成
- 胃がん検診内視鏡検査の拡充



● 地域福祉の推進

201万円

- 第3期地域福祉計画の策定

● 基地対策

1,212万円

- 早期利用・返還に向けた取組、騒音などの課題解消に向けた要望活動

健全で希望にあふれる次世代を守り、はぐくむ環境づくり

●子育てを支える環境づくり

32億1,719万円

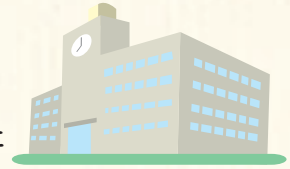
- 子ども・子育て支援事業計画の策定
- 保育所待機児童対策の推進
- 児童クラブ待機児童対策の推進
- 小児医療費助成事業の拡充



●生きる力をはぐくむ学校教育の推進

1億2,720万円

- 児童支援体制の強化
- 「いじめ防止基本方針」に基づいた、いじめ防止対策の推進
- 中学校3年生における35人以下学級のモデル実施
- 校舎改修事業、トイレ改修事業、給食室改築事業
- 小・中学校への空調設備の設置に向けた取組



地球環境を保ち、自然と共生する社会づくり

●地球温暖化対策

7,593万円

- 再生可能エネルギー利用設備等の設置促進
- 中小企業に対する省エネルギー対策の推進



●資源循環型社会の形成

4,197万円

- 4Rの推進に対する市民意識の醸成



●自然環境の保全

814万円

- 「(仮称)環境影響評価条例」の制定



市民が輝き、市民が主役の地域づくり

●市民協働の推進と市民自治に根ざしたまちづくり

5億7,947万円

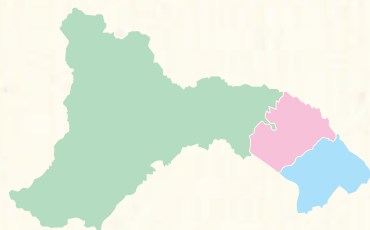
- 区役所機能の強化
- 「市民協働推進基本計画」に基づいた事業の推進
- 自治会の加入促進
- 市民・大学交流センターの運営
- 地域活動、市民活動の促進



●市民が誇りや愛着を持てる郷土づくり

2億2,567万円

- 区制を生かしたまちづくりの推進

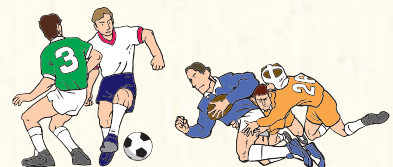


●心豊かに生活できる地域づくり

7億9,966万円

(1億9,971万円)

- 文化振興
- スポーツ振興



相模原市財政状況

相模原市の財政の現状や課題について説明します。

Q.市の財政状況は?

健全化判断比率

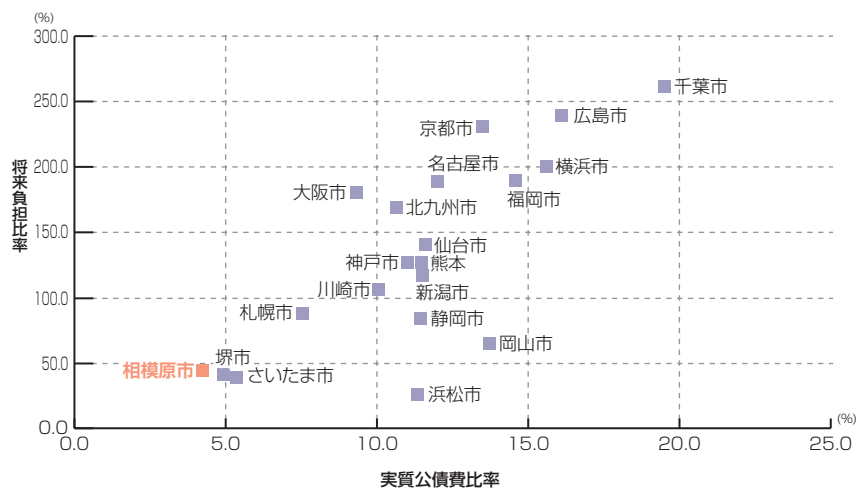
健全化判断比率のうち将来負担比率は、借金や買取りを約束している土地代など既に将来支払うことが決まっている金額などを含めた事実上の総負債額が1年間の収入総額に対しどのくらいの割合かを示したもので、数字が小さいほど、将来の負担が少ないということです。国の基準で一定以上（将来負担比率が400%以上）になった場合は借金削減の計画をたてなければなりません。

実質公債費比率は、収入に対する公債費（借金の返済費用）の占める割合で、数字が小さいほど、借金が少ないということで、一定基準（25%以上）を上回ると市債の発行が制限されます。

相模原市は、政令指定都市の中で、実質公債費比率3.8%は最小、将来負担比率43.2%は4番目に小さく、健全財政を維持しているといえます。



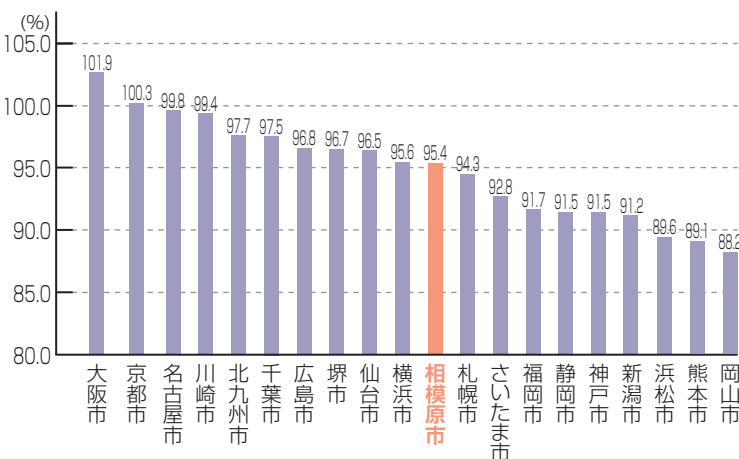
将来負担比率と実質公債費比率との比較（平成24年度決算）



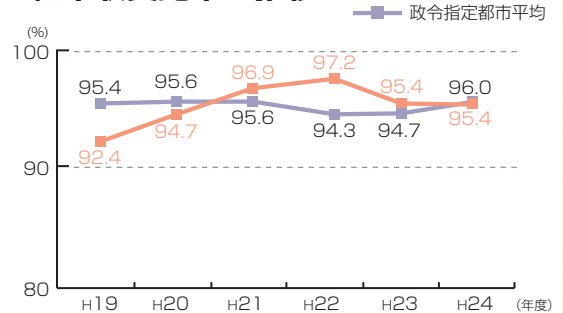
経常収支比率

経常収支比率は、市税など常に見込める収入と、公債費など常に支払う必要がある支出を比べたもので、この割合が低ければ、それだけ新しい仕事にお金を振り向けることができます。

経常収支比率の比較（平成24年度決算）



経常収支比率の推移



相模原市は、平成24年度は政令指定都市平均を下回ったものの、依然として高い数値であり、近年の傾向としては「財政の硬直化」が進んでいるといえます。硬直化が進むと新しい仕事を我慢する必要がでてきたり、急にお金が必要となった場合に対応しづらくなったりします。

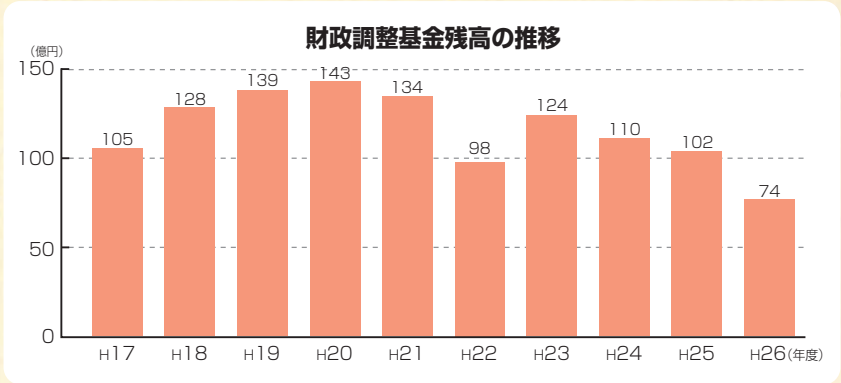
Q.市の貯金や借金はどうなっているの？

財政調整基金 (市の貯金)

急にお金が必要になったり、収入が落ち込んだりしたときに対応できるよう、市でも貯金をしています。これを財政調整基金と呼んでいます。

相模原市では、前年度に支出を切りつめて余裕が出たお金の半分以上を積み立てることをルールとして、積み立てを行っています。

平成21年度以降は平成23年度を除き取崩額が積立額を上回り残高が減少しています。基金残高は減少傾向にありますので、今後も効率的で無駄のない予算執行を行うことで取崩額を削減することに努めていきます。



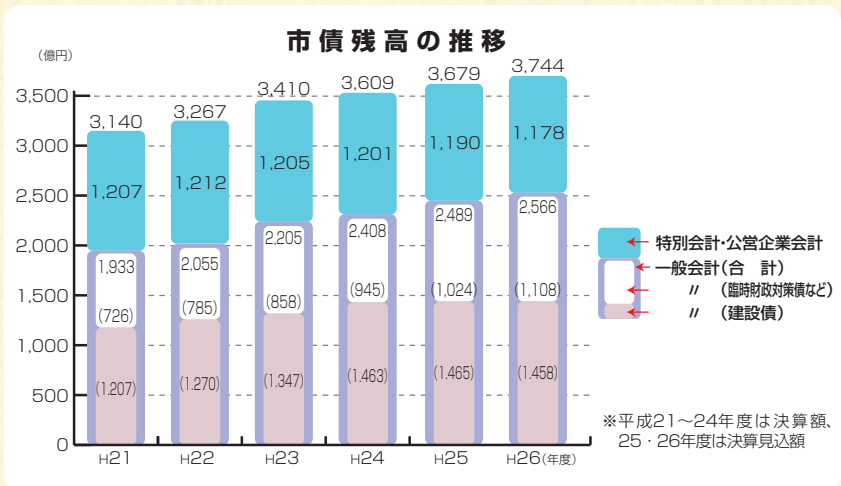
※平成17～24年度は決算額、25・26年度は決算見込額

市債 (市の借金)

市債は借金ですから、無いほうが良いと考えるのがあたりまえです。でも、公園や道路などの整備に必要なお金を1年間の予算でまかなってしまったら、その年は他の仕事が出来なくなってしまいます。それに公園や道路はこれから長い間、たくさんの方が利用する施設ですから、将来

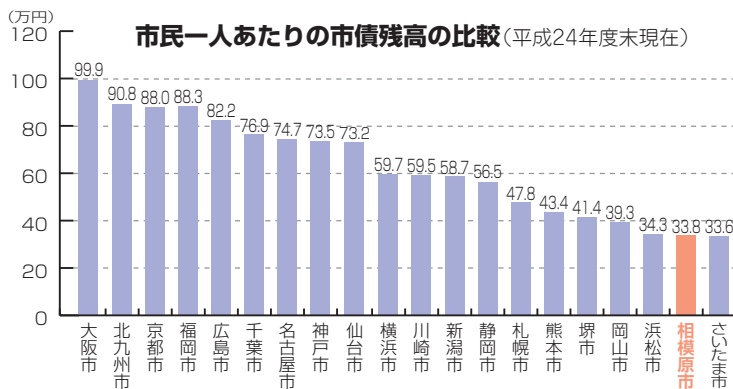
の市民の方にも平等に費用を負担していただくことも、市債を発行する理由の1つです。

また、国の財源不足で本来地方交付税として配られるお金が不足した分を、市が代わりに借金をしてまかっています。この借金を臨時財政対策債といい、近年市債残高が増加している大きな要因となっています。臨時財政対策債の返済金については、後年度の地方交付税額の算定に全額が反映されることになっています。



※平成21～24年度は決算額、25・26年度は決算見込額

市民一人あたりの市債残高の比較 (平成24年度末現在)



市民一人あたりの市債の残高を他の政令指定都市と比較すると相模原市が2番目に低くなっています。

ただし、市債残高は年々増加していますので、今後も健全財政を維持するため、借入額に関する自主的なルールを作り、適切な市債発行に努めています。

※市民一人あたりの市債残高の比較については、他の団体との比較のため、普通会計決算の数値から作成しています。

健全財政に向けた 主な取り組み

相模原市では現在の健全な財政を
将来にわたり維持するため、
いろいろな取り組みを進めています。

相模原市は、現時点では財政的に健全といえる状態ですが、市債残高や財政調整基金の状況を見ると、将来への課題がないわけではありません。

そこで、将来にわたっても引き続き健全な財政を維持するために、市ではさまざまな取り組みを進めています。



行財政改革の断行

市民と行政が一体となって継続的・計画的に都市経営に取り組むため、平成17年度にさがみはら都市経営ビジョンを策定するとともに、具体的な取組を定めたアクションプランを策定し、行財政改革に取り組みました。

また、平成25年度からはさがみはら都市経営指針及び実行計画を策定し、継続的に行財政改革に取り組んでいます。

市債発行の上限設定 (借入れできる上限額の自主規制)

市の借金には、実質公債費比率や将来負担比率などの国の基準でいろいろな規制がありますが返済額や残高に関するもので、借入額を直接規制するものではありません。そこで相模原市では借入額に関する自主的なルールを作って健全財政の維持に努めています。

年度	目標	実績	達成状況
平成17～21年度	借入総額 800億円以内	798億円	達成
平成22年度	借入限度額 320億円 実質公債費比率 8%以下	287億円 4.3%	達成
平成23～25年度	3年間の市債発行額 1,000億円以内 実質公債費比率 8%以下	713億円 (平成23～24年度) 4.2% (平成24年度)	
平成26～28年度	3年間の市債発行額 950億円以内 実質公債費比率 8%以下		

収入未済額の削減に向けた取り組み

市では、納期限を経過しても納付されない債権について、滞納者に納付を促すため様々な措置を講じていますが、収入未済額は年々増加している状況です。

このため、市民の負担の公平性と自主財源の確保を目的として、「相模原市債権回収対策基本方針」及びこの方針に基づく「平成26年度債権回収対策等実行計画」を策定し、財産の差押、公売の実施などに重点的に取り組んでいます。

「宝くじ」って実はすごい!!

宝くじ
情報

Q. 宝くじってどこで買っても同じ?

A. 宝くじが当たる確率は、どの売場で買っても同じだよ。でも、相模原市内で売れた宝くじの収益金は、相模原市に配分され、身近な市内の事業に役立てられているんだ。
だから、みんなが**市内で宝くじを買ってくれると**、相模原市の収益金も増えるから、**みんないいことづくめなんだ!**



市内で買えば、
市民のために
役立てられるんだ!!

平成26年2月に公共施設※に
新たな売場ができたんだ。
売上の一部を設置施設で活用
する**全国初の取組**を開始したよ!!
(※緑区役所・中央区役所・
南区役所・れんげの里あいそ)



宝くじは相模原市内で買ってくださいね。

寄附で、あなたも**市政**に参加してみませんか! 「暮らし潤いさがみはら寄附金」制度のご案内

- ポイント1** 寄附金は、あなたが**指定した事業に活用されます!**
市の事業のうち幅広いメニューから使い道を選択いただけます。
- ポイント2** しかも、2,000円を超える部分は**税金が差引かれます!**(上限額があります)
つまり、税金の使い道を指定するのと同様の効果があります。
※税控除を受けるには確定申告が必要です。
- ポイント3** さらに、**皆さまにより身近な事業への指定が可能に!!**
図書館の本やスポーツ施設の器具など、普段から皆さまにご利用頂いている市の事業に対して、寄附の指定が可能になりました。なお、使い道を指定しない「一般コース」も設けております。

【平成25年度 暮らし潤いさがみはら寄附金の実績】

寄附件数	寄附金合計
91件*	10,485,680円

*財団法人解散に伴う寄附金を除く。

多大なるご寄附ありがとうございます。皆さまからお預かりした寄附金は、原則ご寄附頂いた年度の翌年度の予算の中で活用させていただきます。

詳しくは市ホームページ、パンフレットをご覧ください。市財務課まで。

相模原家の 家計簿

市の財政について、皆さんに身近に感じていただくために、市の予算を家計に例えてみます。相模原家の年収500万円として、市の予算を当てはめてみると…

～相模原市の平成26年度予算を年収500万円の家計に例えると～



収入

給料	基本給 (市税)	218万円	(△4万円)
	諸手当 (地方交付税・国県支出金など)	159万円	(+5万円)
	貯金の取り崩し (基金繰入金)	15万円	(△9万円)
	家賃収入 (使用料・手数料など)	54万円	(△1万円)
	生活資金のローン (臨時財政対策債)	29万円	(+2万円)
	家の増改築のローン (その他市債)	25万円	(+7万円)
	合計	500万円	

(カッコ内は前年度との比較)

支出

食費 (人件費)	84万円	(△6万円)
医療費 (扶助費)	137万円	(+2万円)
ローンの返済 (公債費)	46万円	(△2万円)
光熱水費・通信費・修繕費 (補助費等・物件費など)	144万円	(+7万円)
家の増改築・電化製品の買替え費用 (普通建設事業費)	45万円	(△1万円)
子どもへの仕送り (他会計への繰出金)	44万円	(±0万円)
合計	500万円	

(カッコ内は前年度との比較)

*このほか、ローンの残高は、498万円。
貯金は24万円になります。

収入については、給料や家賃収入だけでは依然として生活に十分な額に満たないため、貯金の取崩しなどでしのいでいます。

支出では、家族の医療費や光熱水費・通信費・修繕費などが増えているため、食費を切り詰めるなどしてやりくりしています。

～『予算事始』の作成にあたって～

江戸時代の中期、「この本を翻訳することができれば、日本の学問を変えられることができる」という高い理想と信念を持ち、オランダ語で書かれた解剖学の本の翻訳を、頼るべき辞書も無いまま手探りで取り組んだ初期の蘭学者(オランダ語で西洋の学問を学ぶ者)の苦勞が書かれている『蘭学事始』という書物をご存知でしょうか?

「予算」は、市民の皆さんに納めていただいている税金などがどのように使われるのかをまとめたもので、市民生活に密接に関わっています。また、「財政の健全化」とか「財政破たん」とかという言葉もしばしば耳にされると思いますが、自分の暮らすまちの財政が健全に運営されているかどうかは、まさに、市民生活に大きな影響を及ぼす重要事項です。

一方、専門用語や仕組みの複雑さなどから、市民の皆さんに予算や財政の中身を分かりやすく説明することはなかなか難しいことですが、相模原市の予算や財政状況を分かりやすく解説し、関心を持っていただくことによって、相模原が変わっていく、そんな思いをこめてこのパンフレットを『予算事始』と名づけました。

『予算事始』を読んでいただいて、一人でも多くの皆さんに「予算が身近になった」「相模原市の財政に興味をもった」と感じていただければ幸いです。



相模原市の予算や財政に関する詳しい情報は市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/>

【トップページ】⇒【市政情報】⇒【市の財政】からアクセスしてください。

広告

広告内容に関するお問い合わせは各事業所へ(パンフレットの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください)。

新築・お子様の勉強部屋・リフォームのご相談は



有限会社
トータルハウジング久野

神奈川県相模原市中央区水郷田名2丁目11番26号
TEL 042(762)0096 FAX 042(760)0078
<http://www.t-h-kuno.co.jp>

相模原事務用品協同組合

相模原事務用品協同組合 代表理事
佐藤 幸彦

事務局 ▶

〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3(商工会館内)
TEL 042(750)2838 FAX 042(750)2855

URL:<http://www.e-jimu.jp> e-mail:kumiai@e-jimu.jp

(有)オオヌマ 042-778-4290
菊屋浦上商事(株) 042-754-9211
(有)橋南堂 042-772-2408
久米文具店 042-754-6560
昭文堂 042-762-1532
(株)敏正堂 042-685-1511
福文堂 042-784-0136

(株)文盛堂 042-752-2303
(株)宝月堂文具店 042-752-2083
(株)ミリオン事務機器 042-784-3856
(有)山本書店 042-784-0016
(株)洋文堂 042-730-3421
(有)渡邊文相堂 042-761-5518
(株)プロワーク 042-730-5251

お買い物は地元のお店で!!

一般社団法人

相模原市商店連合会

相模原市中央区中央3-12-3 ☎042-768-2451



SOIN

相模原市印刷広告協同組合

プロ集団
25社

印刷・広告受注、地域情報紙印刷配布、
市民まつりパンフレット・暮らしのガイド(ナイスガイドさがみはら)作成
街美化アダプト制度の活動、PTA・公民館広報誌講習会(年1回開催)等

相模原市印刷広告協同組合代表理事 長田 功

〒252-0239 相模原市中央区中央3-7-5 ☎042(776)6100 ☎042(776)5656 <http://www.soin.or.jp/>



Bank of Yokohama

Afresh

あなたに、あたらしく。

お客さま一人ひとりに、
最もふさわしい金融サービスとの出会いを、
あたらしく創りあげていきます。

横浜銀行

地域と共に90年 そして未来へ



 八千代銀行

2014年12月6日、八千代銀行はおかげさまで創立90周年を迎えます。

相模原法人営業部／淵野辺支店／相模原支店／南淵野辺支店
上溝支店／田名支店／千代田出張所／相模台支店／相模大野支店／大沼支店
東林間支店／古淵支店／橋本支店／二本松支店／城山支店